

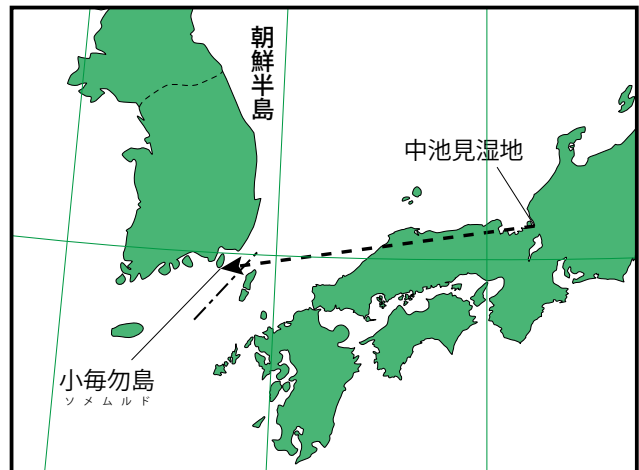


(公財) 山階鳥類研究所

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115  
電話：04-7182-1101 FAX：04-7182-1106  
<http://www.yamashina.or.jp>

## ホオジロの仲間のアオジが福井県から韓国慶尚南道小每勿島に渡ったことが「鳥類標識調査」によって確認されました アオジの日本と韓国の間での移動が確認されたのは初めてです

- ・ 2020年3月3日韓国慶尚南道統営（トンヨン）市の小每勿島（ソメムルド、対島の西約70km）で、調査中に捕獲されたアオジ（亜種アオジ）に日本の足環が確認されました。
- ・ この個体は、2019年10月24日福井県敦賀市中池見で雌・幼鳥として標識足環をつけられて放鳥されたアオジであることが判明しました。
- ・ 放鳥地から回収地までは直線距離にして約690kmとなります。
- ・ この記録はサハリンや日本（本州中部以北）などで繁殖するアオジ（亜種アオジ）が秋に福井県を通過して越冬地に至り、翌春、北上の途中で韓国南岸の島を訪れた証拠であり、日本産鳥類の渡りの生態を知るうえで貴重なものとなりました。



韓国慶尚南道統営（トンヨン）市の小每勿島で捕獲、足環が確認されたアオジ（左上）、足環（左下）と今回判明した移動（右）。足環には「KANKYOSHO JAPAN 2AM-19519」という刻印がありました。2020年3月3日（写真提供：Gil-Pyo Hong）。

アオジは日本（本州中部以北）や極東ロシア南東部で繁殖し、日本南部、中国南部等で越冬するとされています。しかし、複数の亜種に分かれていて、それぞれの越冬状況や渡り経路はよくわかっていません。アオジは日本の鳥類標識調査においてもっとも多く足環標識が付けられている種類で、これまで国内の移動記録は約3,300例得られています。国外と移動記録はロシアとの間で24例あるのみでした。

この個体は、福井県敦賀市中池見で協力調査員の古園由香さんによって標識放鳥されたものです。

## アオジとは

学名 *Emberiza spodocephala*

スズメ目ホオジロ科 全長 16cm

本州中部以北で繁殖。冬期は本州中部以南に移動する。世界的には極東ロシア南東部で繁殖し、日本南部、中国南部等で越冬する。日本では越冬期には、根雪のない地方で、庭や市街地の公園のやぶ等でもよく見られる。チツ、チツと鳴き、地上で採餌する。亜種アオジ *Emberiza spodocephala personata* がサハリン中南部と日本の本州中部以北で繁殖し、大陸には主に亜種シベリアアオジ *E.s. spodocephala* が生息する。韓国で普通に観察されるのは亜種シベリアアオジで、亜種アオジは毎年通過するものの数は多くない。

## 鳥類標識調査とは

カスミ網などを使って、鳥類を捕獲し、個体識別用の足環を装着して放鳥するもので、鳥類の渡りや寿命などの様々な生態を明らかにする目的で実施されており、近年では、鳥類生息状況のモニタリングのためにも活用されています。日本では現在、環境省の委託事業として、山階鳥類研究所が、多くのボランティアの協力も得て実施しています。1961年以來足環を装着して放鳥した約600万羽のデータが蓄積されています。

## 鳥類標識調査ウェブサイトについて

1961年以來の鳥の渡りの記録をパソコン上で地図表示できる鳥類アトラス web-GIS 版等が、環境省生物多様性センターのサイトに公開されています。

<http://www.biodic.go.jp/birdRinging/index.html>



## この件についての問い合わせ先

※写真のデジタルデータをご希望の方もお問い合わせください。

写真：アオジ（写真提供 Gil-Pyo Hong；韓国慶尚南道統営（トンヨン）市の小每勿島、2020年3月3日）

平岡考 山階鳥類研究所広報コミュニケーションディレクター

eメール：hiraoka@yamashina.or.jp

水田拓 山階鳥類研究所保全研究室長

eメール：mizuta@yamashina.or.jp